キャラクター名
藤咲　詩乃

プレイヤー名

シンドローム	ブラム＝ストーカー バロール	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	カフェ店長
オプショナル		年齢	28	性別	女
覚醒	償い	衝動	加虐	初期侵食率	33 %
出自	義理の両親	経験	禁断の愛	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	1	0			2
感覚	3	0	0			3
精神	3	0	0			3
社会	1	0	0			1

HP	27
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：	2		芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赫き剣	白兵	2r+4	3	消費HP+8		↓対抗種が乗ればダメージに+2d10。HP-3。
80以下	白兵	8r+4	7	8~10		かぎ爪前提【漆黒+鮮血+C】防御無視、HP-6
100以下	白兵	8r+4	11	21		かぎ爪前提【漆黒+鮮血+ブラバ+C】防御無視、HP-11
100以上	白兵	14r+4	15	21		かぎ爪前提【漆黒+鮮血+ブラバ+始祖+C】防御無視、HP-14

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
コネ：要人への貸し	
コネ：手配師	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
遺産	P　尽力	N　脅威		
No.04対抗種	P　信頼	N 疎外感		
"狩猟者"　伊庭宗一	P　執着	N　憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　4	残り財産P：　1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
C：ブラムストーカー	2	2	ﾒｼﾞｬｰ					
効果：C値-Lv　下限7								
渇きの主	1	4	ﾒｼﾞｬｰ	武器	単体	白兵	―	
効果：白兵装甲無視　HPを<Lv*4>回復。								
鮮血の一撃	5	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	―	白兵	―	
効果：白兵d+<Lv+1>。HP-2								
ブラッドバーン	3	4	ﾒｼﾞｬｰ	―	―	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	80%	
効果：攻撃力+<Lv*4>。HP-5								
始祖の血統	3	4	ﾒｼﾞｬｰ	―	―	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	100%	
効果：判定d+<Lv*2>。　HP-3								
赫き剣	1	3	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	―	
効果：武器作成。<Lv*2>までの任意のHPをコストにする。								
斥力跳躍	1	1	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	―	
効果：飛行状態で戦闘移動を行う。その際の移動距離を+<Lv*2>。								
赤方偏移世界	1	2	ｾｯﾄ	視界	単体	自動	―	
効果：そのR間対象の行動値を+<Lv*2>し戦闘移動の距離を+10m。								
時の棺	1	10	ｵｰﾄ		単体		100%	
効果：いつもの。シナリオ1回。								
裸の王様	1							
効果：支部のほとんどの機能を自分とこの+10人で賄っている								
刻の魔術師	1							
効果：熟成ワインと燻製が好き								
効果：								
効果：								

130+60点作成　EA環境

ふじさき　しの

礼儀正しく面倒見がよい女性。支部長になってから趣味の料理もろくに出来なくなったことに嘆いている。
ただしその中身は黒い感情が常に渦巻きやり場のない拳の行く先を常に探している。
UGNに入った当初は何かを思案していることが多く、物憂げな表情と虚ろな瞳からコードネームがついた。なお京都出身ではないため標準語で喋る。

幼い頃にオーヴァードが引き起こした事故で両親が他界。その後親戚一家に引き取られ過保護気味に育てられた。
16歳の頃に同学年だった男の子と交際をし、彼がFHという組織のメンバーであること、日常に隠されていたオーヴァード達の存在を知る。覚醒したのはその後、
19歳の時。彼が行方を晦まして半年後のことだった。
唐突に伊庭宗一から告げられた真実は彼女を覚醒させるのに余りあるもので、以降彼女の人生の全ての動力源となった。